

# 群星 【むりぶし】 *Muribushi*



9月★10月号 2014年

隔月発行  
September  
October

沖縄総合事務局 広報誌／第 355 号

[インタビュー] 西表島船浮のシンガーソングライター 池田 卓さんに聞く  
島に暮らすということ

[特集] 農業・農村の多面的機能の維持・発揮に向けて



表紙写真

## 粟国島の海 (粟国村筆ん崎)

粟国島はかつて、粟(あわ)の産地として知られており、粟島とも呼ばれ、名前の由来となっています。そんな粟国島の南西側に位置するのが、ダイビングスポットとして有名な「筆ん崎」です。

特に5月～7月にかけては、写真のようにギンガメアジが求愛行動のため数千匹単位の大群を作ることで有名で、それを目当てに県の内外からたくさんのダイバーが訪れます。そのほかにもイソマグロの群れ、オオメカマスの群れ等、大物が見ることができる、沖縄屈指のダイビングスポットです。

撮影：沖縄総合事務局  
遠藤 正則

# 群星 Muribushi 9月★10月号 2014年 CONTENTS

<b>01</b>	<b>インタビュー</b> <b>西表島船浮のシンガーソングライター 池田 卓～島に暮らすということ～</b>	
<b>04 特集</b>	<b>農業・農村の多面的機能の維持・発揮に向けて ～日本型直接支払(多面的機能支払)の創設～</b>	農林水産部
<b>06 仕事の窓</b>	<b>1 管内経済情勢報告(平成26年7月)</b>	財務部
<b>08</b>	<b>2 平成25年度の水に関する動きについて</b>	開発建設部
<b>10</b>	<b>3 自賠責制度PR月間について</b>	運輸部
<b>12</b>	<b>4 しまのゆんたくin慶良間～環境の保全と観光の両立を目指して～</b>	総務部
<b>13</b>	<b>5 平成25年度 沖縄農林水産業の情勢報告～沖縄の食文化と健康～</b>	農林水産部
<b>14</b>	<b>6 沖縄地域知的財産戦略本部会合 ～中小・ベンチャー企業の知的財産意識の定着に向けて～</b>	経済産業部
<b>15</b>	<b>7 海の月間～「海の日」を広く理解していただくための取組～</b>	運輸部
<b>16</b>	<b>なかゆくい 美味しい沖縄～沖縄食材を食べ尽くす!～『クワンソウ』</b>	
<b>18</b>	<b>内閣府だより 第53次沖縄豆記者団等／子ども霞が関見学デー</b>	
<b>19 局の動きき</b>	<b>下請法基礎講習会 第32回国有財産沖縄地方審議会 ～食育講演会～県民一人ひとりが健康長寿に向けて「食」について考えましょう!</b>	総務部 財務部 農林水産部
<b>20</b>	<b>平成25年度 沖縄総合事務局開発建設部所管優良業者等表彰式を開催</b>	開発建設部
<b>21</b>	<b>平成26年度 沖縄ブロック国土交通研究会</b>	開発建設部
<b>21</b>	<b>お知らせ 人事異動</b>	

本誌掲載の論文等の意見は、筆者の個人的見解であることをお断りします。

## うんゆの 「豆知識」 ③

船のバリアフリーの雑学  
誰もが利用しやすい  
船をめざして

公共交通機関を担う船舶では、障害者や高齢者を含むあらゆる人が利用しやすいようバリアフリー化を進めています。

具体的には、手すりの設置や床の表面に滑りにくい仕上げがなされた通路・客席、障害者等が円滑に利用できる構造を有するトイレ、車いす使用者が持ち上げられることなく乗降できる構造の乗降用設備等があります。

このバリアフリー化により、障害者等の社会参加が促進され、「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザインの考え方に基づき、生き生きと安全に暮らせるよう、すべての利用者に利用しやすい船舶を目指しています。



通路・客席



トイレ



乗降用設備

西表島船浮のシンガーソングライター  
池田 隼さんに聞く

# 島に暮らすということ

手としては、2000年にデビューブーして今年で十四年目になります。

歌手を目指すようになつたのも、いずれは船浮に住みたくて、何か持つて帰れるものをやりたいなつていうのがあつたんです。自分の中にあるものだと、それは島でもできるなど。

最近は本土でのイベントが多く、通常朝の7時に自分の船で船浮を出て、午後3時に東京に着いてます。これだけ交通手段等が充実すれば、全く僕は不便を感じていません。

**毎年**4月に開催している「船浮音祭り」に今年は680人も来てくれました。普段、船浮に来てくれるのは一日五、六名かな。

祭り当日は、対岸の白浜港からチャーターボーを含め、四隻がピストン運航して、あとは石垣から200名乗りの直行便が来ますね。西表ではバスも足りないし、大変ですね。難しいです。

歌手を目指すようになつたのも、いずれは船浮に住みたくて、何か持つて帰れるものをやりたいなつていうのがあつたんです。自分の中にあるものだと、それは島でもできるなど。

最近は本土でのイベントが多く、通常朝の7時に自分の船で船浮を出て、午後3時に東京に着いてます。これだけ交通手段等が充実すれば、全く僕は不便を感じていません。

**毎年**4月に開催している「船浮音祭り」に今年は680人も来てくれました。普段、船浮に来てくれるのは一日五、六名かな。

祭り当日は、対岸の白浜港からチャーターボーを含め、四隻がピストン運航して、あとは石垣から200名乗りの直行便が来ますね。西表ではバスも足りないし、大変ですね。難しいです。

## 歌

ビューブーして今年で十四年目になります。

歌手を目指すようになつたのも、いずれは船浮に住みたくて、何か持つて帰れるものをやりたいなつていうのがあつたんです。自分の中にあるものだと、それは島でもできるなど。

最近は本土でのイベントが多く、通常朝の7時に自分の船で船浮を出て、午後3時に東京に着いてます。これだけ交通手段等が充実すれば、全く僕は不便を感じていません。

**毎年**4月に開催している「船浮音祭り」に今年は680人も来てくれました。普段、船浮に来てくれるのは一日五、六名かな。

祭り当日は、対岸の白浜港からチャーターボーを含め、四隻がピストン運航して、あとは石垣から200名乗りの直行便が来ますね。西表ではバスも足りないし、大変ですね。難しいです。

船浮に泊まりたいという人もいますけど、キヤバがないので、白浜や西表の他の地区に泊まる人も多いんです。今では隣村まで一杯になるのが広がつていて、ほかの地域からも感謝されるようになつたことが一番うれしいんです。

本当に「船浮音祭り」をきっかけに僕は船浮を知つてもらいたくて、一番は観光客もそうですが、周辺離島の人にも来てもらいたいお祭りでもあるんですよ。（船浮って近くで遠いというか、来たことない人が多いので。）

それに、船浮を知つていただけると、西表の民宿の人からも、何かのときにはきれいだよって言つてもらえると思います。

「船浮音祭り」には、なかなか西表では見られないような人をゲストに招いています。子供が行きたいって言うから親も引っ張られて行くかなつて思つて、ずっと船を走らせてきました。

開催時期を4月の第3週末にしたのも狙いがあつて、伊平屋のムーンライトマラソンとか新しい祭りは全部お客様がいない時期なのを見て、南風（ばいかじ）に変わつて過ごしやすいというずんの季節の一番いい時期に来てもらえないのはもつたいないと考え、この時期にしました。

船浮海運は、僕が小さいころから父が運航していたので、小学校の文集にも「将来は船浮海運の船長」と書いたも、「将来は船浮海運の船長」と書いたぐらいですけど、当時は本当に知られていなくて、一日一人か二人来るか来ないかという状況でした。

船渡しでは飯が食えないから民宿もしながら、陸路がつながつてないこの村は、この船を止めたらなくなつてしまふという親父の強い思いがあつて、ずっと船を走らせてきました。

僕が小学校1年生の時に会社組織になつて国の離島航路補助で助けてもら



西表島には、陸続きでありますながら陸路がないために、船でしか行くことが出来ない船浮と言う集落があります。生まれ故郷の西表島船浮に暮らすシンガーソングライター池田隼さんは、島への思いを歌にして全国各地で音楽活動するだけでなく、ご両親と一緒に海運業や観光業もしています。池田さんに島での仕事や生活などの魅力を語つてもらいました。

えるようになりましたが、それまでは本当に大変でした。

今でこそ、こういう何もないところが好きな方も増えてきて、インターネットが普及したことでも船浮にもここ最近は来られる方も多くなって、今は県外の観光客が七、八割です。一方、県内的人は身近なため、いつでも行けると思っていますのか、なかなか離島に行かないですよね。

最近は、島の人も結構乗っていて、

この辺では一家に一隻の船はあるけど、年配の方や、ガソリン代の高騰により、定期船の方が安いという人もお

船浮海運の定期船「ニューふなうき」



ります。

それに、僕が島を出ている間に浮き桟橋ができてフラットになり船の乗り降りが楽になりました。

昔は大潮の干潮時には、もうじいちゃん、ばあちゃんの乗り降りや荷物の積みおろしが大変でした。

船原に住んでいる船長さんと事務員さんの4人で運営しています。

島に帰ってきて4年目で、小型船舶

免許と船員手帳も取得し、操船もできるのですが、今は係留のためのロープを取りに行くのが仕事で、使うガソリンの量とエンジンの仕組み、航路とかいろんなことを勉強中です。

免許は沖縄水産高校で取得し、夏休みなどは親父の手伝いをしていました。船や海のことは小さいときから習っていたので免許取得は簡単でしたね。

沖縄水産高校では野球をやっていました。学科は海洋科じゃなくて総合学科でしたが、それでもいろいろ免許が取れるので水産高校はやっぱりいいですね。

いづれは社長として頑張っていかなければと思いますが、船浮にいない日もあるので船長には多分難しくて、僕の場合は宣伝係という感じです。

僕が何で島に帰ってきたかっていうと、海運業の跡継ぎは親父がリタイア

した後でもできるんですけど、今は空いた時間で、たけのこをとつて、イノシシを捕りに行って、イカや魚を釣つたり、貝を探つたり、ここでしか

いるんです。イノシシの罠の仕掛け方は全然レベルが違うんですよ。山の道も昔はたくさんあって、ちょっと入れば迷いますけど、親父を追つて歩きながら覚えていました。

そのため、親父が元気なうちにと、親父が六十才のときに歌手活動がちょうど十周年だったの帰つてきました。歌は十年で土台はできているはずだから、平日はここで親父と修行をしながら、ここからちょくちょく歌いに行けばいい。今ちょうど自分が描いたとおりの日々で、充実しています。

今、船浮には四十人住んでいて、十人弱は先生で、それから真珠の養殖と海んちゅと船浮海運に、あとは観光業ですね。民宿も2軒あります。

仕事はいっぱいあつたほうが安定しています。

まずは、今は農業を始めたいなと思つてますし、今は農業を始めたいなと思つてます。

昔は山やイダの浜まで全部畑で、米

を発揮するのもお年寄りだし、そういう祭りを廃れさせないためにもと思つて、去年から豊年祭に使う分の米を作つています。

それから、はちみつとコーヒーもつくり始めました。普通の野菜を船浮で作つても輸送費や鮮度の面で不利なの

で、保存が効いて、船浮産ということが価値になるものをと考えたんです。

インターネットなどで調べているん

ですけど、やつてみると何でも難しいですね。5万円位で何万匹ってハチと

箱を一式買って、初め2ヶ月ぐらいは

順調で蜜もつくっていたのに、ハチの世話をするタイミングが悪かったのか

怒つていなくなりました。悔しいから

勉強し直して、今は2回目のチャレンジ中です。

はちみつを売ろうと思ったら絶対に

船浮の知名度が必要なんです。だから

船浮音祭りがメディアに取り上げても

らえるきっかけになればという、いろ

んな思いはあります。観光にも使えるし。

船浮の知名度が必要なんです。だから

船浮音祭りがメディアに取り上げても

らえるきっかけになればという、いろ

んな思いはあります。観光にも使えるし。

船浮音祭りがメディアに取り上げても

らえるきっかけになればという、いろ

んな思いはあります。観光にも使えるし。

船浮音祭りがメディアに取り上げても

らえるきっかけになればという、いろ

んな思いはあります。観光にも使えるし。

船浮音祭りがメディアに取り上げても

らえるきっかけになればという、いろ

んな思いはあります。観光にも使えるし。

かつて、川や滝へ行く日帰りツアーレを始めました。いとこは船浮地区に炭鉱があった頃のことでも紹介できるガイドをしています。

僕はこれを仕事として成り立たせて、人を雇えるようにするとか、また、やりたい人がいるならば、こんな仕事が船浮でできると示して、もうちょっと人を増やしたいという思いがありますね。

今 のところ夏場の民宿は一日一、二組いるかなという感じで、全くない日もありますし、冬場だと本当に一、二週間お客様がゼロというのは普通です。

外国人の人も、年に四、五組ぐらい泊まることがあります。言葉が通じなくても問題ないですけど、やっぱり民宿に一人はしゃべれる人がいたほうがいいと、去年からおもてなしのために英語を移動時間とか使って勉強し始めました。

船でも、特に英語で案内しているわけではないんですけど、外国人がネットで調べてきて乗っていますね。外国人には船長さんがいつもチケットに帰り時間を書いていますけど、全部は難しくても、港での案内看板くらいは英語にしたいと思っています。

光では、新石垣空港ブームにあやアーレを始めました。いとこは船浮地区に炭鉱があった頃のことでも紹介できるガイドをしています。

僕はこれを仕事として成り立たせて、人を雇えるようにするとか、また、やりたい人がいるならば、こんな仕事が船浮でできると示して、もうちょっと人を増やしたいという思いがありますね。

## 観

かって、川や滝へ行く日帰りツアーレを始めました。いとこは船浮地区に炭鉱があった頃のことでも紹介できるガイドをしています。

## 西

表は世界自然遺産の候補地にな

りましたけど、僕はちょっと早過ぎるって思っており怖いんです。世界

遺産に匹敵するような自然はあるとは思うんですが、受け入れる体制ができるないのです。

タクシー運転手などで外国語を話せる人もいなですし、両替できるところもいません。これでは世界から観光客を呼んでも、身動きがとれないからあの島は行かない方がいいよと言わられるだけですからね。

みんなで協力しないとできない話ですし、きちんと考えた方がいいと思うんです。

それに、みんな観光客が来るから色々と言っていますが、自然を守るためにもしかしたらイノシシを獲るのに山に入らなくなることもあると思うし、何か一つ守ろうと思って別のことこれが制限されるみたいなことも多分にあると思うので、そこもちゃんと考えていかないといけないと思っています。

これからは、ここにいる人がこの島のよさを心から知っている、みんな楽しこうにしていることが大切にならんでしょうね。こうやって不便など沢山います。

僕もツアーレの最後の5分はみんなで砂浜の漂流ゴミを拾うようにしているけど、そういうことをしたい人たちはみんなで協力しないとできない話で

てるんだろうってなると、みんなもここに興味を持つてくれると思うし、ころに住んでいる人たちが何でこんなに楽しそうに生きてるんだろう、輝いてるんだろうってなると、みんなもこれでしょ。こうやって不便などを解消して、自分もそんな人たちに開まれて住んでみたいって思うようになります。

変わらないものに価値がついている時代なので、船浮は今からどんどん価値が出てくると思うし、僕も発信していきたいと思います。

## こ

れからは、ここにいる人がこの島

のよさを心から知っている、みんな楽しんでいることが大切にならんでしょうね。こうやって不便などを解消して、自分もそんな人たちに開まれて住んでみたいって思うようになります。



社長で師匠でもある父池田米蔵氏と

### 池田 卓 プロフィール

1979年 沖縄・西表島船浮出身。  
中学・高校は野球に没頭し、19歳の夏、島の芸能祭に参加したのをきっかけに本格的に芸能活動を開始。  
2000年10月、「島の人よ」でCDデビュー。  
2005年、「心色」で全国デビュー。  
2007年、故郷・船浮にて音楽イベント「船浮音祭り」を企画。  
2011年、活動拠点を船浮に移し、生まれ故郷から「島への思い」を発信している。

# 農業・農村の多面的機能の維持・発揮に向けて ～日本型直接支払（多面的機能支払）の創設～

## はじめに

農業・農村には、国土の保全、水源のかん養、良好な景観の形成などの多面的機能があります。こうした機能は、農村だけでなく、都市住民の生活にも役立つもので、国民全体の暮らしを支えています。

しかし近年、農村地域の高齢化、人口の減少などで、農業生産に伴う地域の共同活動などにより支えられてきた多面的機能の発揮に支障が生じつつあります。

また、農地集積が進む中にあって、水路、農道などの保全・補修にかかる担い手の負担が増大し、担い手の規模拡大が阻害されることも懸念される状況です。

このため、農業を産業として強くしていく「産業政策」と車の両輪をなす「地域政策」として、農業・農村の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対して支援する日本型直接支払制度を平成26年度に創設し、さらに平成27年度からは法律に基づき、この制度を実施していきます。日本型直接支払制度は、「多面的機能支払（創設・組替）」「中山間地域等直接支払（現行制度維持）」「環境保全型農業直接支援（現行制度維持）」の3つの制度で構成されます。

## 1. 多面的機能支払の構成

### ① 農地維持支払（創設）

農業者等による組織が取り組む、水路・農道等の基礎的な保全活動や農村の構造変化に対応した体制の拡充等、多面的機能を支える共同活動を支援します。このように、担い手に集中する地域資源（農地、水路、農道等）の管理作業を地域で支え、農地集積等の地域の構造改革を後押しします。

② 資源向上支払（25年度までの農地・水保全管理支払を組替・名称変更）  
地域資源の質的向上を図る共同活動を支援します。具体的には、水路、農道等の軽微な補修、植栽による景観形成などの農村環境保全活動、施設の長寿命化のための活動等に支援します。

## 多面的機能支払交付金の構成

### 多面機能支払交付金

#### (1) 農地維持支払交付金

##### ① 地域資源の基礎的な保全活動

###### 【活動例】



##### ② 地域資源の適切な保全管理のための推進活動

###### 1) 地域資源の質的向上を図る共同活動

###### 【活動例】



###### 2) 施設の長寿命化のための活動

###### 【活動例】

###### ① 施設の軽微な補修等

###### 【活動例】



###### ② 農村環境保全活動

###### 【活動例】



###### ③ 多面的機能の増進を図る活動

###### 3) 地域資源保全プランの策定

###### 4) 組織の広域化・体制強化

## 制度のポイント

- 地域共同で行う、多面的機能を支える活動や、地域資源(農地、水路、農道等)の質的向上を図る活動を支援

↓

  - 多面的機能の維持・発揮
  - 担い手の育成、6次産業化、都市との交流による地域活性化

地・水保全管理支払を組替え等によつて新たな制度となつた「多面的機能支払」として、更なる取組の拡大が期待されます。

後の施設の見回り・点検・片付け・応急処置等を行つています。

これらの取組により自然環境の保全、農村環境の保全向上のみならず、地域活性化にも役立っています。

その活動は、農業者や地域住民等が共同し、水路の土砂上げ、農道の草刈りに留まらず、耕土流出防止のための農地周辺のグリーンベルトの設置、裸地対策と景観形成を兼ねた景観作物の植栽、栽培体験など多岐にわたっています。

県内においては、これまでの農地・水保全管理支払交付金の継続移行として24市町村、約1万ヘクタールの農地を対象に共同活動が行われています。

## 2. 沖縄県内での取組

## 多面的機能の維持・発揮のための共同活動 事例

### 【子供会、学校教育等との連携】

農村環境保全活動に対する地域住民等の関心を高めるため、体験学習や観察会等の交流活動を実施し、農道等の保全活動への協力や地域活性化に役立てる。



▲耕作放棄地等を活用し、子供達へ栽培体験の場を提供

## 【耕土流出防止対策】

沖縄の観光資源である青い海を守るために、農地等からの土壌流出を防ぐ活動。

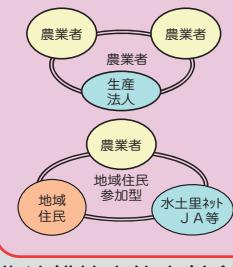
- ・農地の裸地期間に緑肥も兼ねた景観作物(ひまわり)の植付(左下)
  - ・グリーンベルト設置(右上)
  - ・沢砂池の土砂上げ作業(右下)



支援対象組織：活動を行うためには、以下に示す組織を設立する必要があります。

農地維持支払交付金

- 農業者のみで構成される組織  
又は  
農業者及びその他の者  
(地域住民、団体など)  
で構成される組織
  - 資源向上支払と同組織で  
の取組が可能



資源向上支払交付金

- 地域住民を含む組織
  - 農地・水保全管理支払と同様の組織（農地・水環境保全組織を含む）で取組が可



農地維持支払交付金は、農業者のみで構成される組織でも支援対象となっており、取り組みやすい制度となっています。

(お問い合わせ先)

農林水產部土地改良課

☎ (098) 866-1652



私たち農家だけで活動するか…でも、自分達だけでは作業が大変だよなあ…  
地域住民や畠のない都市部の方も一緒に作業できると助かるし、地域活性化にも繋がるかなあ



# 管内経済情勢報告（平成26年7月）

管内経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動がみられるものの、回復している

## 【総括判断】

項目	前回(26年4月判断)	今回(26年7月判断)	前回との比較	総括判断の要点
総括判断	消費税率引上げに伴う駆け込み需要及びその反動がみられるものの、回復している	消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動がみられるものの、回復している	➡ (不变)	駆け込み需要の反動がみられるものの、個人消費は引き続き緩やかに回復しており、外国客の大幅な増加などから観光は好調に推移している

## 【先行き】

沖縄振興策などを背景として景気が回復しているなかで、海外景気の下振れリスク、原材料価格や賃金の動向などとともに、駆け込み需要の反動からの回復状況について、引き続き注視していく必要がある。

## 【各項目の判断】

項目	前回(26年4月判断)	今回(26年7月判断)	前回との比較
個人消費	消費税率引上げに伴う駆け込み需要及びその反動がみられるものの、緩やかに回復している	消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動がみられるものの、緩やかに回復している	➡
観光	回復している	回復している	➡
雇用情勢	持ち直している	持ち直している	➡
住宅建設	前年を上回っている	前年を上回っている	➡
設備投資	前年度を下回る見込み	前年度を下回る見通し	➡
公共事業	前年を上回っている	前年を上回っている	➡
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	緩やかな持ち直しの動きに足踏みがみられる	➡ ↓
企業収益	減益見込み	増益見通し	↑
企業の景況感	現状判断は「上昇」超幅が拡大している	現状判断は「上昇」と「下降」の均衡	↓

## 【主要項目の動向】

### 個人消費

#### 「消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動がみられるものの、緩やかに回復している」

大型小売店販売額については、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動がみられ、天候不順の影響があったものの、食料品が堅調のほか、新規出店効果等により前年を上回っている。

コンビニエンスストア販売額については、たばこに消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動がみられたものの、新規出店効果のほか、ファストフードが好調であることから前年を上回っている。

新車販売台数については、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動がみられたものの、新型車効果などから前年を上回っている。中古車販売台数については、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動がみられたものの、販売促進効果から前年を上回っている。

家電販売額については、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動から前年を下回っているものの、住宅建設の増加等を背景としてエアコンや白物家電などで持ち直しの動きがみられる。

このように、個人消費は消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動がみられるものの、緩やかに回復している。

#### ○大型小売店販売額、新車登録台数（前年比）



(資料) 大型小売店販売額：経済産業省、沖縄総合事務局

新車登録台数：沖縄県自動車販売協会

## 観光

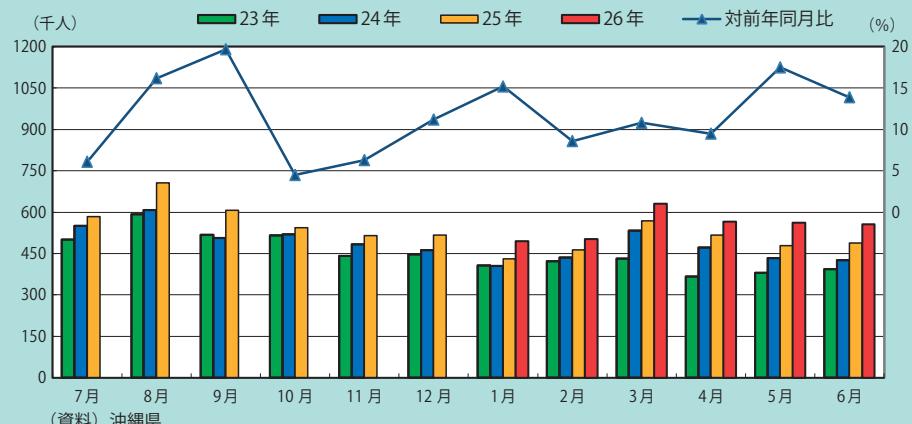
### [回復している]

入域観光客数は、国内客が航空路線の拡充や企業の報奨旅行等による好調な旅行需要などから増加し、外国客がチャーター便運航を含めた航空路線の拡充などにより大幅に増加していることから、8ヶ月連続で単月の過去最高を記録している。

ホテルの客室稼働率、客室単価はともに前年を上回っている。

このように、観光は回復している。

#### ○入域観光客数



## 雇用情勢

### [持ち直している]

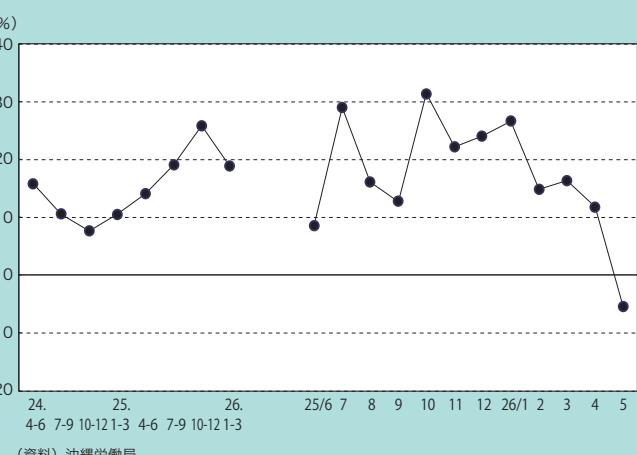
新規求人数は、医療・福祉、宿泊業・飲食サービス業など多くの業種で前年を上回っており、新規求職者数は前年を下回っていることなどから、有効求人倍率(季節調整値)は横ばいとなっている。

このように、雇用情勢は持ち直している。

#### ○有効求人倍率及び完全失業率



#### ○新規求人数 (前年比)



## 【その他の項目の動向】

### 住宅建設

新設住宅着工戸数は、分譲で前年を下回っているものの、持家、貸家で前年を上回っていることから、全体では前年を上回っている。

### 設備投資

法人企業景気予測調査(26年4~6月期)でみると、全産業では前年度を14.0%下回る見通し(除く、石油・石炭、電気・ガス・水道では26.8%下回る見通し)となっている。

### 公共事業

公共工事前払金保証請負額(26年4~6月累計)は、前年を上回っている。

### 生産活動

食料品は、酒類が前年を上回っているものの、食肉加工品が前年を下回っており、全体でも前年を下回っている。窯業・土石では、好調な公共・民間工事を背景として生コンやセメントの出荷が引き続き前年を上回っているものの、金属製品、化学・石油製品は前年を下回っている。

このように、生産活動は緩やかな持ち直しの動きに足踏みがみられる。

### 企業収益

法人企業景気予測調査(26年4~6月期)でみると、26年度上期は、全産業で5.3%の減益見込みとなっている。

26年度下期は、全産業で13.8%の増益見通しとなっている。

26年度通期は、全産業で3.4%の増益見通しとなっている。

### 企業の景況感

法人企業景気予測調査(26年4~6月期)でみると、全産業では、「上昇」超から「上昇」と「下降」の均衡となっている。

業種別にみると、製造業では、「下降」とする企業が増加していることなどから「上昇」超から「上昇」と「下降」の均衡となっている。非製造業では、情報通信、卸売・小売で「下降」とする企業が増加していることなどから「上昇」超から「上昇」と「下降」の均衡となっている。

# 平成25年度の水に関する動きについて

沖縄総合事務局開発建設部においては、平成25年度の水に関する主な動きをまとめております。

## ①離島における少雨状況について

平成25年は沖縄本島だけではなく、周辺離島でも降雨が少なかったため、一部離島では制限給水が行われる厳しい状況となりました。

た。

このうち、久米島町においては、平成25年8月22日から夜間断水(21時～翌朝6時)が実施され、8月31日から中断し、平成26年3月11日に正式に解除されました。

また、座間味村では平成25年10月1日から夜間断水(21時～



## ②宜野座村大川ダムからの代替取水と漢那ダムからの代替取水停止と

平成25年8月5日に発生した米軍ヘリのキャンプ・ハンセン内への墜落事故により、宜野座村は、村管理の大川ダムからの取水を緊急停止しました。

宜野座村は、沖縄県に対して大川

ダム取水停止に伴い村内に給水不可となつた1,000m<sup>3</sup>/日について、国管理の漢那ダムからの代替取水を要請し、県は、事態の緊急性に鑑み、宜野座村の要請を受けて漢那ダムからの代

翌朝7時)が実施され、平成26年2月10日に解除されました。

替取水を了承し、即日実施しました。

今回の取水については、宜野座村が漢那ダムに対して保有している既得農業水利権のうち、現在、使用していない分について沖縄県は水利権(河川法第23条)の処分で処理を行っています。

なお、大川ダムについては、平成26年8月13日より取水が再開されました。

## ③金武ダムの完成

建設中だった億首ダムは、平成26年2月に金武ダムに名称を変え、同年4月より供用を開始しております。

(旧)金武ダムは億首川にある水道専用の

り、ダムの規模は(旧)金武ダムと比較して高さが約3倍、総貯水容量は約10倍となっていました。

沖縄の発展を支える水と本島北部地域の水源地環境の将来的な保全は、沖縄県における重要な課題であり、会議では水源地域ビジョン(※)をテーマに



## ④沖縄北部ダム湖サミットの開催



議論を行い、具体的な行動の第一歩としてサミット宣言が取りまとめられました。

### 沖縄北部ダム湖サミット宣言

私たちは、沖縄北部ダム湖サミットにおいて、やんばるの自然と水の大切さを念頭に、以下のとおり理念や方針を共有し、具体的な行動の第一歩とする。

- 一 やんばるの貴重な自然は沖縄の宝であり、本島における貴重な水源地でもあることから、県民全体で森を守り、水を守ることが重要。
- 一 水源地やんばるの自然やダム湖の魅力を活かした活動を通じて、森や水の大切さを広く認識してもらえるように努力。
- 一 ダムの存在する北部地域の連携のみならず、中南部地域との交流・連携を促進。

平成26年2月22日  
沖縄北部ダム湖サミット参加者一同

### 【今後の展開(案)】

- ①ダム個々の水源地域ビジョンから総合的なビジョンを策定する
- ②水源地北部地域と中南部地域等との交流・連携の場を創出する

は1日最大4万トンの海水淡水化水を生産できる国内最大級の施設として、供用をはじめています。

沖縄本島においては、平成25年は6月～9月の少雨のものは、ほぼ平年並の降雨はあつたものの、年間を通しては平年を下回る降水量であり、冬場である12月から2月はダム貯水量の減少傾向が予想されていました。

平成26年1月31日、沖縄県企業局は貯水率の減少傾向が続いた場合を想定した対応策として、海水淡水化施設の

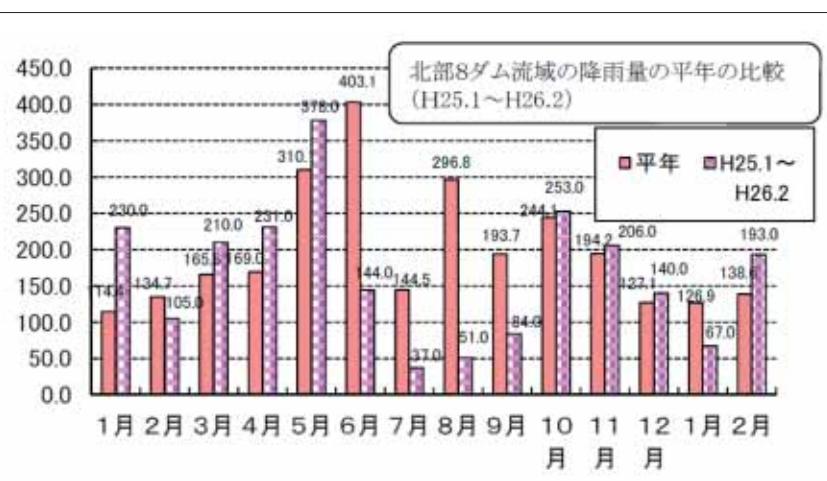
最大稼働を2月から開始することを決定したと発表しました。

実施され、その間、合計1,311,7万トンの水が供給されました。これは1日平均にすると約3万トンが供給されたことになり、国・県・企業局ダムや河川・地下水も含めた上水道の日需要量に占める割合は約7%となり、その分、国・県管理ダムの貯水を温存する効果を発揮しました。

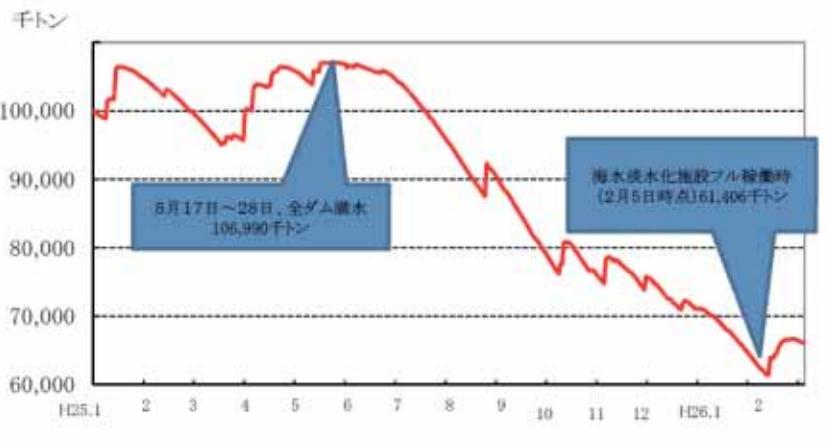
## ⑤海水淡水化施設フル稼働

(※) 水源地域ビジョン ダム(水)を地域の資源と捉え、水源地域の自主的・持続的な活性化を図るために、ダム水源地の自治体・住民や関係行政機関で策定する行動計画です。

沖縄県企業局の施設である海水淡化施設は、沖縄県北谷町にあり、平成5年度に着工され、平成9年4月から



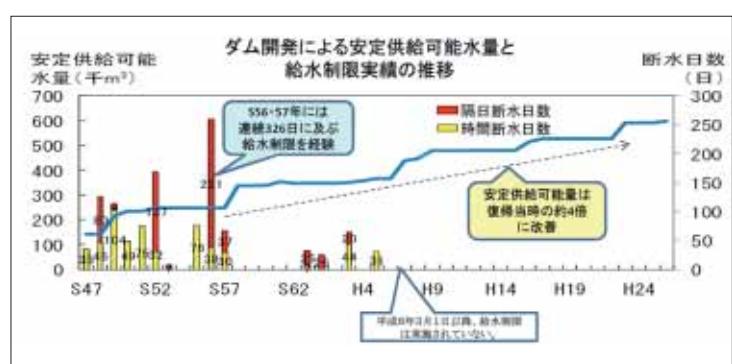
### 沖縄本島11ダム貯水量の推移 (H25.1～H26.2)



## ⑥連続給水20周年

平成26年3月1日をもって、沖縄県企業局は連続給水20年を迎えました。最後の給水制限が実施されたのは平成6年3月1日でした。

最後の給水制限が実施された平成6年以降も平均降水量を下回る少雨の年はあつたものの、倉敷ダム(平成8年)、海水淡水化施設(平成9年)、羽地ダム(平成17年)、大保ダム(平成23年)が次々と完成・稼働されており、水資源の安定供給に資しています。今年(平成26年)金武ダムが完成し、ダム建設による水資源の開発はひとつの節目を迎えるました。





運輸部

# 自賠責制度PR月間にについて

## 自賠責保険・共済は交通社会のセーフティネット

### 自賠責保険・共済は交通社会のセーフティネット

自賠責保険・共済は、クルマやバイク（原動機付自転車を含む）1台ごとに加入が義務付けられており、交通事故被害者への基本的な対人賠償を確保するものです。

起こした場合、事故加害者は多額の賠償額を被害者に自ら支払うことになり、被害者のみならず加害者にとっても悲惨な結果をもたらすことになります。

### もし、自賠責保険・共済に加入せず事故をおこしたら・・・

大学生のAさん（20歳）は「自分だけは大丈夫。絶対に事故を起こさない」と過信し、自賠責保険の有効期限が切れたバイクをそのまま運転していました。ある日、道路上に飛び出した子供をひいて、死亡させてしまいました。

自賠責に加入していなかったAさんは多額の賠償金を全額自己負担するこ

とになってしまった。もし自賠責保険に加入していれば、最高3000万円（限度額）まで自賠責保険で支払うことになります。

\*沖縄県では平成24年度においてバイクが第一当事者（注）となる事故が561件発生しています。特に24歳以下の若者が起こした事故は243件となり事故件数の4割以上です。

（注）・第一当事者 事故において過失が重い側の者。過失が同程度の場合は被害が軽い者をいう。

### 自賠責保険・共済の有効期限切れバイクへの監視活動

#### 自賠責PR月間

国土交通省及び沖縄総合事務局運輸部では、平成26年9月1日から9月30までの1ヶ月間を「自賠責制度PR月間」と定め、以下の広報活動を行います。これにより自賠責保険・共済への加入促進を図り、自賠責制度の基本的な仕組



職員及び指導員が街頭取締りや監視活動を行っています

沖縄総合事務局では、大型商業施設

や団地等の駐輪場を中心に、自賠責保険・共済の期限切れの疑いがあるバイクに注意喚起を行っており、平成25年度は38705台を監視、うち3281台（約8%）に自賠責保険有効期限切れの疑い

ありとして、注意喚起を行いました。これは全国平均の6%より高く、沖縄県においては自賠責保険・共済制度をより積極的に広報することが求められています。

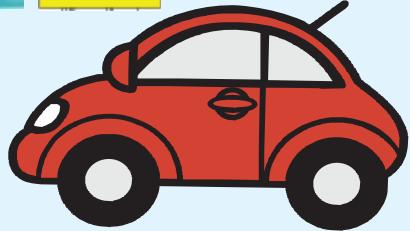
#### ① ポスター・リーフレットによる広報の実施

#### ② 自賠責保険・共済の有効期限切れ車両への監視活動の推進

#### ③ 街頭啓発活動を(社)日本損害保険代理業協会等と連携して実施

み、交通社会のセーフティネットとして自賠責保険・共済が果たす役割の認知度の向上に努めます。

## 有効期限が切れていないかチェックしましょう。



※自動車及び排気量250ccを超える  
バイクは車検ステッカーの有効期限  
をチェック



※排気量250cc以下のバイク(原付を  
含む)はナンバープレートのステッカー  
をチェック

平成23年4月1日より、一目でみて自賠責保険切れがチェックできるよう、従来のブルー一色であったものを年ごとにカラー化して判別しやすく改良措置がされました。

従来方式	H24年 橙	H25年 紫	H26年 黄緑	H27年 赤	H28年 黄	H29年 緑	H30年 青

平成31年以降の配色については、順次これを繰り返す。

### ★自賠責は強制です。 でも、かんたん加入！

各損害保険会社・共済協同組合をはじめ、クルマやバイクの販売店や郵便局でも、簡単な手続きで加入できます。

250CC以下のバイクなら、一部のコンビニやインターネットでも、簡単な手続きで加入できます。

### 自賠責保険料・共済掛金

2013年4月現在

	契約期間 車両	60ヶ月	48ヶ月	36ヶ月	24ヶ月	12ヶ月
沖 縄 県	原動機付 自転車 (125cc以下)	5,350円	5,210円	5,070円	4,930円	4,790円
	軽二輪 自動車 (125cc~ 250cc)	5,760円	5,540円	5,330円	5,100円	4,870円

注)原動機付自転車以外の保険料・共済掛金については、損害保険会社・共済協同組合にお問い合わせください。

自賠責制度の詳しい内容は<http://www.jibai.jp>でご覧になれます。



総務部

# 「しまのゆんたく in 慶良間」を開催してく る環境の保全と観光の両立を目指してく

沖縄総合事務局では、新たな離島振興策の一環として、地元行政機関、地域住民等が一堂に会して、「ゆんたく」し、地域の発意による地域活性化の端緒とする」とを目的に、「しまのゆんたく」を開催しています。

6月4日(水)、5日(木)、国内で31番目の国立公園に本年3月に指定された慶良間諸島において、「しまのゆんたく in 慶良間」を開催しました。

## ■慶良間の振興「一体で」

初日は、渡嘉敷村在住者が座間味村へ、座間味村在住者が渡嘉敷村へ、相互通じて村内を巡り、慶良間諸島における環境保全の課題や観光振興による島おこしを議論の中心に、各村ごとに分科会を行いました。

2日目は、「環境の保全と観光の両立」をテーマに、(株)カルティベイト開梨香代表取締役社長による講演が行われました。その後、ゆんたく本会では、両分科会の代表者から慶良間諸島が抱える課題や解決方策について発表がありました。

渡嘉敷分科会からは、年間を通して安定した集客のため、特に冬場の観光メニューの開発(平準化に向けた戦

略)、質の高い来島者を呼び込むための高品質なサービスの提供(質を重視する戦略)、渡嘉敷島を中心とした再訪してもらうための修学旅行の受入やビーチクリーンなど環境保全活動(長期的視点にたつた戦略)の「3つの戦略」について提案がありました。



ゆんたく本会での議論の様子



参加者全員で

多言語化に向けた取組などが紹介されました。

会合の終わりに、渡嘉敷・座間味両村長より、国立公園の指定やこの「しまのゆんたく in 慶良間」をきっかけにして、これまで以上に両村が協力して、環境を守りつつ地域を活性化していく

たい旨、発言がありました。当局では、引き続き、慶良間諸島における地域活性化の活動を支援するとともに、他の離島等においても、地域の発意による地域活性化を進めるお手伝いをしてまいります。



# 平成25年度 沖縄農林水産業の情勢報告

## 沖縄の食文化と健康

平成25年度の沖縄農林水産業の動向等を取りまとめた「平成25年度沖縄農林水産業の情勢報告」を7月に公表しました。特集では、沖縄の食生活と健康を取り上げ、これらをめぐる最近の動向と課題を整理するとともに、沖縄の食文化を支える伝統的農水産物を見つめ直し、長寿県沖縄の復活に向けたヒントを探りました。

### 1. 沖縄の食生活と「長寿県沖縄」の現状

#### ①平均寿命の順位後退

かつて、男女とも全国1位を誇っていた沖縄県の平均寿命は、平成22年には、男性は30位まで後退し、女性は初めて首位から転落して3位という過去最低の結果となり、長寿県沖縄の崩壊の危機が一層深刻となっています。

#### ②食生活の特徴

沖縄の食文化を反映し、近海で大量に獲れる「マグロ」や、沖縄料理に多用される「かつお節・削り節」、ツナ缶等の「魚介の缶詰」、ポークランチョンミート等の加工肉、揚げ物やチャンプルーといった炒め物の料理に使われる「油脂」の購入量・金額は、全国平均を大きく上回っています。

また、「居酒屋等」と「ハンバーガーショップ」の10万人当たりの店舗数はともに全国平均の2倍近くに達しており、日常的に飲酒の機会やファストフード店の利用が多い食生活がうかがえます。

#### ③脂質の摂りすぎ

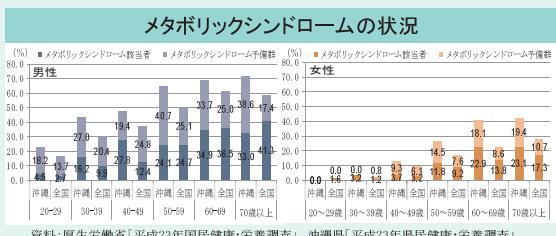
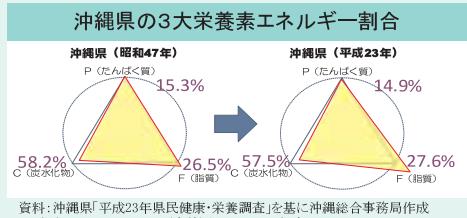
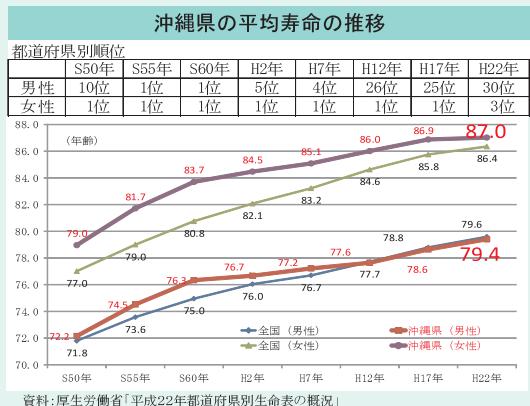
沖縄県の1人当たり総エネルギー量は全国平均を下回っているものの、総エネルギー量に占める「脂質」の割合は27.6%と、全国平均に比べ1.4ポイント高く、昭和47年と比べても、その割合は大きく増加しています。

一方で、「野菜」、「果物」の一日摂取量は、それぞれ一人当たり254g、64gと、摂取目安量とされる350g、200gを下回っており、野菜については30歳代、果物については15歳～40歳代における摂取量が極めて少ない状況にあります。

#### ④肥満と生活習慣病

沖縄県の主な死因のうち、男女ともに35歳以上の年代における心疾患、脳血管疾患、肝疾患、また、60歳以上の年代における糖尿病の死亡率が、全国と比較して特に高い傾向にあります。

これら生活習慣病等の発症リスクを高めるとされるメタボリックシンドロームの該当者又は予備軍の割合は、ほぼ全ての年代で全国平均を大きく上回っています。



### 2. 沖縄の食文化と伝統的農水産物

沖縄の料理は、中国からの影響を大きく受けたと言われており、「医食同源」という考え方の下、体の疲れを癒やしたり抵抗力を養うために、季節の野菜や魚、肉類などを工夫して食べ、年中行事の供え物にも取り入れてきました。特に、豚肉は貴重な食材の一つで、余すところなく使いこなすのが特徴です。

このほか、戦前から郷土料理に利用されてきた、島にんじんやにがうり、へちまといった「島野菜」や、古くから料理やお茶に利用されてきたウコン、アロエなどの薬用作物、かけ酢やポン酢の代わりとして使われてきたシークワーサー、そして、沖縄そばの出汁をはじめ沖縄料理の味付けの基本として用いられ、全国一の消費量を誇るカツオ節などがあります。



### 3. 「長寿県沖縄」復活に向けた取組と今後の展望

沖縄県では、平成26年4月に関係機関を構成員とする「健康長寿おきなわ復活県民会議」が設置され、2040年までに平均寿命日本一を復活することを目指し、好ましい生活習慣などを定めた県民行動指針を作成し、全県的な運動の展開が始まったところです。沖縄総合事務局では、このほか、沖縄版「食事バランスガイド」の普及促進や、食育講演会、料理講習会等の開催、沖縄健康長寿弁当の開発等、食生活改善の実践を促すための支援を行っています。

長寿県沖縄の復活のためには、肥満になりやすい食生活・食習慣を見直し、量・質ともに栄養バランスのとれた食事を摂るとともに、近年機能性成分が注目されている薬用作物や島野菜など、沖縄県独自の食材も上手く取り入れながら、禁煙、適度な運動などとあわせて健康づくりを心がけていくことが効果的だと考えられます。こうした県民一人ひとりの健康づくりを進め、長寿県沖縄を取り戻していきましょう。

大学生を対象とした料理講習会





## 経済産業部

# 沖縄地域知的財産戦略本部会合開催について

**地域知的財産戦略本部会合とは**  
地域における知的財産に関する普及啓発や戦略的に知的財産を活用するための環境を整備するため、全国9か所の経済産業局及び沖縄総合事務局に地域の官民からなる「地域知的財産戦略本部」を設置し、地域の特色やニーズを踏まえた地域知的財産戦略

推進計画を策定するなど、地域における知的財産の総合的な支援をおこなっております。沖縄県においても、平成17年8月に同本部が設置され、自治体等の関係機関の実施する施策や活動を奨励し、地域の事情や課題等の情報を共有行いながら、中小企業全体の知財におけるマインドの向上とレベルの底上げに資する施策を展開しています。

## ■ 知的財産戦略本部会合

本年6月16日(月)、沖縄総合事務局は、平成26年度第1回沖縄知的財産戦略本部会合を開催いたしました。本会合の議事に先立ち、本部長(経済産業部長)から、「知的財産はイノベーションを促進させる重要なツールのひとつであり、沖縄のボテンシャルを利用した「アジアゲートウェイ」には欠かせない要素などの関係機関が一丸となつて沖縄大交易会では連携を図つて行くべきです。」と挨拶しました。

その後、平成25年度事業報告及び平成26年度事業計画について、本会合事務局である経済産業部地域経済課特許室から説明した後、審議を経て了承されました。本部員からは、「沖縄大交易会に関して、知財事業との連携を今後も継続してもらいたい」「知財分野について企業経営者や社員に向けた情報発信・共有の仕組みが重要」との意見がありました。

また、今回、本会合において、特許庁から「最近の知的財産政策と中小企業支援策の概要」について、沖縄科学技術大学院大学(以下「OIST」)から「OISTにおける知

財等の状況」について、県外企業から知的財産活用成功事例についてご講演いただきました。

同本部が自治体、公的支援機関及び経営者等との取組を共有する場として活用され、沖縄地域における知的財産権制度の普及・促進されることを期待しています。

## ◇ ワンポイント(知的財産とは)

知的財産とは、エジソンやライト兄弟、ベル、平賀源内といった発明家に代表されるように、私たちが普段生活の中で何気なく使っている携帯電話、テレビ、カメラ等の生活用品のほとんどが発明と深い関わりを持っています。発明やアイデアは知的財産の中のひとつであり、人間の幅広い知的創造活動によって生み出されたもの、その権利を総称して知的財産権と呼びます。その知的財産権のうち特許権、実用新案権、意匠権、商標権の4つの権利を産業財産権と呼び、特許庁がその審査・権利の付与をし、沖縄総合事務局特許室が制度の普及・啓発活動を行っています。



地域知的財産戦略本部会合の様子

## 今後について

現在、経済産業部は、中小企業の海外展開を知的財産の観点から後押しするための「海外展開支援セミナー」、開放特許を利用して企業間のマッチングを図り新たなビジネスモデルを構築するための「知的財産ビジネスマッチング事業」、琉球大学と連携した企業実務者向けの「知的財産業務の基礎講座」を実施しています。沖縄地域は製造業の集積が少なく知的財産活動を実践する実務者が不足し、知的財産制度に対する

## ◇お問い合わせ

### 経済産業部 地域経済課

TEL : 098-866-1730  
FAX : 098-860-1375  
E-mail : okip@meti.go.jp



## 運輸部

# 「海の月間」について

「海の日」を広く理解していただくための取組

四方を海に囲まれている我が国は、輸出入貨物の大部分を海上輸送に頼るなど様々な形で海と深く関わって発展してきました。「海の日」は、このような海の恩恵に感謝し、海を大切にする心を育むことを目的に平成8年に制定されました。この「海の日」の意義を広く理解していただくため、7月を「海の月間」とし、全国各地において多彩な行事が展開されています。

当局においても「2014那覇観光キャンペーンレディーによる一日船長」「海事関係功労者表彰式」を実施しました。



一日船長による船内の点検・視察

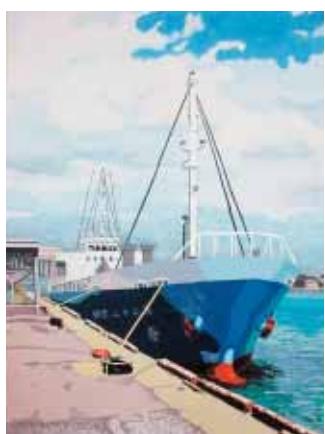


## 海事関係功労者表彰式

7月25日(金)に那覇市内のホテルで開催し、港湾関係事業、優良船員等28名を表彰しました。また、同式典において「中学生海の絵画コンクール沖縄地方展」受賞者への表彰も行い、沖縄総合事務局長賞(金賞)受賞の大城綾花さんを始め、10名の中学生を表彰しました。

7月14日(月)、那覇→渡名喜→久米島航路の運航する「フェリー琉球」の一日船長として、那覇観光キャンペーンレディーの知念里乃さんを任命し、船内の点検・巡視を行いました。知念さんは、「船の旅は私達に夢とロマンを与えてくれます。今後とも安全航海に

努めていただき、明日を担うシーマンとして頑張って下さい」と、船員や関係者に向けて激励のメッセージを送りました。



大城綾花さんの作品(金賞受賞)



表彰状を受けとる大城綾花さん



表彰式典の様子





クワンソウの花（花期は9月中旬～10月）

クワンソウ（和名：アキノワスレグサ）はユリ科ワスレグサ属の多年草で、中国原産です。ワスレグサ属は、アジア原産属で、寒帯、温帯を中心に約20種類あると言われており、クワンソウはその中の「ホンカンゾウ」と呼ばれる種の一変種です。

この種は、暖かい気候に適した種類とされ、日本国内の分布（帰化）範囲は、沖縄県内のほか、南九州、奄美大島、徳之島、与論島で、台湾にも分布すると言われています。沖縄県内では、栽培の他、集落近くの山野に、帰化したものを見るることができます。

※二ーブイは、沖縄方言で眠くなるという意味  
最近では、久米島町や今帰仁村で、道路周辺に植栽され、道行く人の目を楽しませています。

シャキシャキの歯ごたえが特徴のクワンソウは、食べてよし、きれいな花を見てよし、健康効果も期待できると言われており、都市部の観光客を農村へ引きつける、魅力満載の地域資源として注目されています。

今回のなかゆくいは、この注目の地域資源、クワンソウにスポットを当てて、ご紹介します。

## クワンソウとは

## 人々との関係：料理

## 一旦姿を消した島野菜に再び注目

10月27日(月)  
10月31日(金)

沖縄総合事務局1階消費者の部屋特別展示にて、「沖縄県内の薬用作物」としてクワンソウの花や加工品を展示予定。



満開のクワンソウ畠

このようにクワンソウは、琉球王朝時代から、中華料理で、クワンソウに近い種の「ホンカンゾウ」が用いられ、今まで蕾を「金針菜」という呼び名で食材として活用されています。

クワンソウについては、琉球王朝時代の沖縄に渡来して食されていたことが記録に残っています。当時から、葉や茎を刻んで乾燥させたものを煎じて服用すると安眠効果があると言い伝えられ、民間でも「二ーブイグサ※」という方言で親しまれ、庭先に植えられ、茎の根元の白い部分を野菜として、汁物の具材に使われていました。

しかし、近年では、ストレスなどから睡眠に問題を抱える人が増加し、薬を使わずに穏やかに深い眠りを得たいとするニーズが増えたことにより、クワンソウは、再び注目を集めています。健康食品業界では、眠りに関する成分の研究が進められ、クワンソウを活用したサプリメントの製造などの事業が始まっています。

農林水産部

今回は

再び注目を集める地域資源  
クワンソウ

美味しい沖縄  
沖縄食材を食べ尽くす！

乞う  
ご期待！



## クワーンソウの生産

クワーンソウは、消費者や健康食品業界から注目を受けて、畑での栽培が始まり、県内では、今帰仁村、石垣市、糸満市などで生産が行われています。農家では、生産された白茎をそのまま野菜として販売する他、サプリメントの原料として、乾燥葉などの一次加工品を健康食品業界に出荷しています。また、クワーンソウを地域資源として、農家が直接加工・販売までの事業を総合的に行なっています。



### 下ごしらえ

- 袴状に重なっている茎をほぐして、間に入り込んでいる土などを洗い流します。
- 和え物やサラダにする場合は、お湯を数秒くぐらせる。

### 和える

淡泊な味のクワーンソウは「ゴマあえ」などの和え物にぴったりです。

梅ドレッシングで和えるだけでも簡単に和風の一品に仕上がります。

オススメは、湯通しをした薄切り豚肉に茎のみじん切りをのせ、ゴマだれでいただく「豚しゃぶサラダ」。



### 炒める

クワーンソウは肉との相性が抜群。特に中華料理などの濃い味付けの料理にぴったりです。あっさり味のクワーンソウが味のバリエーションを広げてくれます。

もちろんチャンプルーにもOK。

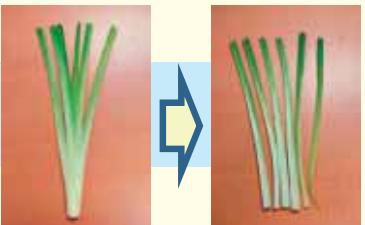


### 揚げる

いろんな野菜と一緒にかき揚げにするのがオススメ。

様々な食感の野菜と合わせてお楽しみください。

食感がクセになる逸品です。



### 煮込む

もともとクワーンソウは日常的に食べる野菜というより豚肉や牛肉、魚などと一緒に煮込む、薬膳料理の素材として使われていました。



◎今帰仁ざまみファームのパンフレットから転載

### コラム2 有毒な「他人のそら似」植物に注意！

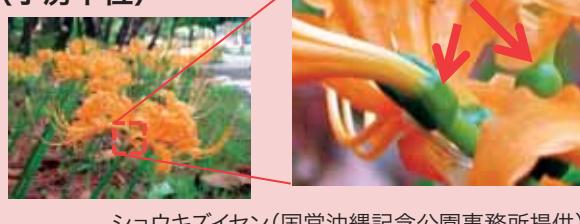
クワーンソウは、沖縄の山野にも見られる植物で、ネギやアスパラガスなど食用作物を多く含むユリ科に属しますが、沖縄県内の野外には、同じ单子葉で、大きな花被片(花弁+萼片)<sup>がくへん</sup>が6枚という特徴を持つ「他人のそら似」植物がいます。特にショウキズイセンは、花の色が似ており、かつリコリンという有毒物質を含むヒガンバナ科のグループで、間違えないように注意が必要です。

そこで、ユリ科とヒガンバナ科植物を花で見分ける方法を示しました。ただしこれは、ユリ科であれば食べても絶対安全ということを保証するものではありませんので、ご注意ください。

#### ユリ科 花の付け根が膨らまない！ (子房上位)



#### ヒガンバナ科 花の付け根が膨らむ！ (子房下位)



# 内閣府だより

## 第53次沖縄豆記者団等による表敬訪問・取材活動

7月29日(火)、第53次沖縄豆記者団等(小・中学生から成る記者団)62名が、菅内閣官房長官及び山本沖縄担当大臣を表敬訪問し、内閣府沖縄担当部局へ取材を行いました。

表敬訪問では、山本大臣より豆記者の紹介が行われ、菅官房長官からは豆記者団への励ましの言葉が述べされました。

沖縄豆記者からは、琉球舞踊などが披露されました。

また、その後に行われた沖縄担当部局への取材では、沖縄科学技術大学院大学や沖縄の観光、離島に関する課題等について、活発な質疑が行われました。



記念撮影



豆記者団による琉球舞踊の披露



豆記者からお土産を受け取る  
山本大臣



内閣府沖縄担当部局への取材

## 平成26年度「子ども霞が関見学デー」

8月6日(水)、7日(木)の2日間にわたり、各府省庁において、毎年恒例の「子ども霞が関見学デー」が開催されました。

「子ども霞が関見学デー」は、親子のふれあいを深め、子どもたちが夏休みに広く社会を知る体験活動の

機会とともに、政府の施策に対する理解を深めてもらうことを目的に、文部科学省をはじめとした各府省庁が参加して実施しています。

沖縄担当部局では、「サンゴでネットレスを作ってみよう!」、「三線」を体験しよう!」、「沖縄美ら海をのぞい

てみよう!」など、沖縄の魅力を紹介する様々なプログラムを実施し、子どもたちに沖縄独特の自然や文化に触れてもらいました。

また、山本沖縄担当大臣も視察に訪れ、三線などの体験を行いました。



会場の様子



「三線」を体験する山本沖縄担当大臣



局

の

動

き

## 総務部

# 「下請法基礎講習会」を開催

## 下請法の普及・啓発、違反行為の未然防止に取り組んでいます

沖縄総合事務局は、企業で発注等の実務を担当されている方に、下請法(下請代金支払遅延等防止法)について基礎的な知識を習得していただくための講習会を7月23日(水)に北谷町(北谷商工会)で開催しました。

本講習会は、講師と参加者がコミュニケーションを図りつつ、下請法を一から学べるよう小規模で実施し、出席した皆さん



から活発な質問をいただきました。

今後も、皆様からの御要望があれば講習会を開催いたします。

下請法に関するご相談やご質問は随時受け付けています。下請取引で何かお困りのことございましたらお気軽に相談窓口までご連絡下さい。



下請法とは、下請取引を公正にし、下請事業者の利益を保護するための法律です。

詳しくはこちら↓

(<http://www.jftc.go.jp/shitauke/shitaukegaiyo/index.html>)

【相談窓口】

総務部公正取引室

☎ 098-866-0049

## 財務部

# 「第32回 国有財産沖縄地方審議会」を開催

6月16日(月)、沖縄総合事務局において、「第32回国有財産沖縄地方審議会」を開催しました。本審議会は、沖縄総合事務局長の諮問に応じて国有財産の管理及び処分等について調査審議するものであり、委員会は、各分野における学識経験者で構成されています。

今回の審議会における諮問事項は下記の2件であり、いずれも先島における地域と連携した大規模な国有地の処分案件となりました。

### 【諮問事項①】

宮古島市に対し、財務省所管普通財産(旧県立宮古病院跡地)を中央図書館・公民館(仮称:宮古島市未来創造センター)用地として売払いすることについて

旧県立宮古病院跡地(約23千m<sup>2</sup>)は、昭和18年から19年にかけて兵舎建設のため旧海軍が買収した財産であり、戦後、沖縄県が国から土地を借り受けて県立宮古病院敷地として利用してきましたが、同病院の別地移転(平成25年6月)に伴い、国に返

還され、島の振興発展に資する図書館と公民館の機能を併せ持った拠点施設である「宮古島市未来創造センター(仮称)」用地として、宮古島市が活用する計画です。

### 【諮問事項②】

石垣市に所在する財務省所管普通財産(旧石垣空港跡地)を沖縄県に対して一般県道石垣空港線用地として無償貸付及び時価売払いすること、並びに沖縄県病院事業局に対して新県立八重山病院用地として減額売払いすることについて

解消のための移転用地)として沖縄県が活用する計画です。既に隣接地には、国有建物を購入・活用した市消防庁舎と急患搬送用ヘリポートが整備済みです。

以上の2件が審議された結果、諮問どおり処理することが適当と認める旨答申がなされました。財務部では、引き続き、地域と連携した国有財産の有効活用を図ることによって、地域・社会のニーズに対応できるよう努めています。



宮古島市未来創造センター(仮称)



新県立八重山病院(イメージ図)

農林水産部

～食育講演会～

“県民一人ひとりが健康長寿に向けて  
「食」について考えましょう！”を開催

沖縄総合事務局では、4月に設立された「健康長寿おきなわ復活県民会議」の構成団体として、生活習慣病の現状や実践的な食生活改善の方法・取組について紹介し、県民一人ひとりが健康長寿に向けて「食」について考える機会の提供を図る「食育講演会」を、6月18日（水）に沖縄県立博物館・美術館で、開催しました。

第一部では、「沖縄県民の食の変遷による健康・長寿に与えた影響」と題して、琉球大学大学院医学研究科准教授の等々力英美氏から、戦前の伝統的食形態から戦

後、現在に至る社会経済的变化が栄養・健康に影響していることや子どもへの食育活動を通して親の食生活改善を働きかける取組をご紹介いただきました。

第二部では「沖縄県民の生活習慣病の現状について」と題して、沖縄県医師会理事の石川清和氏から、県民の心疾患や急性心筋梗塞などで死亡する働き世代の割合が他府県と比べて高い状況にあることや、野菜不足などの問題点の指摘と問題解決に必要な食生活の改善と運動の取り入れ、十分な睡眠・休養などの重要性に

について、ご講演いただきました。

第三部では「簡単!早い!栄養バランスのとれたメニューの提案～健康づくりのための食事バランスとは～」と題して、ヘルスプランニング カエの代表で管理栄養士の伊是名力工氏から、食物繊維が豊富な野菜を食べることの重要性、野菜を多く食べるための工夫について、ご紹介いただきました。

講演会には、一般の方々を始め、市町村食育担当者など約150名の参加がありました。



琉球大学大学院准教授 等々力英美氏の講演



沖縄県医師会理事 石川清和氏の講演



ヘルスプランニング カエ(代表) 伊是名力工氏の講演

開発建設部

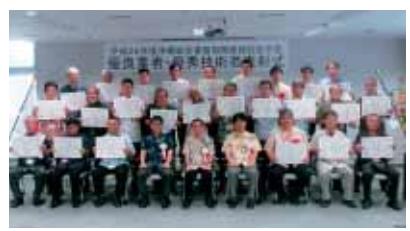
平成25年度 沖縄総合事務局  
開発建設部所管優良業者等表彰式を開催

7月16日（水）、「平成25年度 沖縄総合事務局開発建設部所管優良業者等表彰式」を開催しました。本表彰は平成25年度に完成した工事271件、業務284件の中から、優良施工工事8社、安全施工工事3社、優良業務6社、優秀工事技術者5名、優秀業務技術者3名を表彰いたしま

した。今後とも発注者と受注者の連携・協調により、質の高い社会基盤整備の構築を推進してまいります。

詳細及び各事務所長表彰については以下のHPをご覧ください。

<http://www.dc.ogb.go.jp/kaiken/koji/007773.html>



【優良施工工事】

業者名
株式会社ホカマ
株式会社丸孝組
株式会社大城組
有限会社大和緑建
有限会社国栄建設
パイオニア電設株式会社
東洋・みらい・本間 特定建設工事共同企業体
株式会社太名嘉組

【安全施工工事】

業者名
大永建設株式会社
先島建設株式会社
株式会社小波津組

【優良業務】

業者名
株式会社ニュージェック沖縄支店
株式会社オリエンタルコンサルタンツ沖縄支店
株式会社長大沖縄事務所
株式会社国建
パシフィックコンサルタンツ株式会社沖縄支社
一般財団法人みなと総合研究財団 ・いであ株式会社設計共同体

【優秀工事技術者】

業者名	技術者名
株式会社ホカマ	知花 徳和
株式会社丸孝組	宮城 立裕
株式会社大城組	大城 敏男
有限会社大和緑建	嘉陽 宗紀
東洋建設・南海土木 特定建設工事共同企業体	前田 悅雄

【優秀業務技術者】

業者名	技術者名
株式会社ニュージェック沖縄支店	中野 歩
株式会社長大沖縄事務所	野尻 敏弘
一般財団法人みなと総合研究財団 ・いであ株式会社設計共同体	首藤 啓

## 開発建設部

# 「平成26年度 沖縄ブロック国土交通研究会」を開催

8月5日(火)、開発建設部では、今年度で第34回目となる「平成26年度沖縄ブロック国土交通研究会」を開催しました。

本研究会は、北海道から沖縄まで、全国10ブロックで開催しており、職員等が日頃行っている業務を通じ得た成果や研究開発の成果を発表・報告するものです。

発表課題は、一般技術、イノベーション、アカウンタビリティー、ポスターセッションの4部門に分かれており、沖縄県・那覇港管理組合・沖縄美ら島財団・西日本高速道路・沖縄しまたて協会・琉球大学からの発表も含めて24課題の発表がありました。

審査の結果、部門別に6人が優秀賞を受賞しました。

また、沖縄ブロックから国土交通省開催の全国大会に4人の派遣が決定しました。

特別講演におきましては、沖縄ツーリスト株式会社代表取締役会長の東良和氏に「沖縄観光の目指すところとハード・ソフトインフラ」と題しまして、ご講演いただきました。

### ○優秀賞受賞者

一般技術部門：	金城基樹（全国大会派遣）	宮城福太朗
イノベーション部門：	宇江城菜乃（全国大会派遣）	棚原勇
アカウンタビリティー部門：	宮城一正（全国大会派遣）	
ポスターセッション部門：	池田豊（全国大会派遣）	



発表風景



会場風景



ポスターセッション



表彰式



特別講演 東良和氏



記念撮影

お知らせ  
information

## 人事異動

### 沖縄総合事務局経済産業部長



名前：牧野守邦  
出身地：東京都  
略歴：昭和61年通商産業省(現在の経済産業省)入省 内閣官房原子力規制組織等改革推進室を経て現職  
趣味：音楽鑑賞、島野菜を食べること?  
抱負：沖縄の地域資源と高い潜在性、琉球王朝以来の独自性等を生かしつつ、未来を拓き次代につなぐべきこの時に、沖縄の産業振興のために業界の皆様と共に考え、悩み、実働に向け、やりがいのある仕事を楽しんでいきたいと思います。

### 沖縄総合事務局運輸部長



名前：坪井史憲  
出身地：岡山県  
略歴：平成元年 運輸省入省 國土交通省総合政策局公共交通政策部交通支援課長を経て現職  
趣味：畑いじり、読書  
抱負：沖縄の発展のためには、交通や観光の果たす役割はとても大きいと実感しています。広くご意見を伺いながら、少しずつでも前進したいと思います。

### 内閣府政策統括官 (沖縄政策担当)



名前：関博之  
出身地：長野県  
略歴：昭和56年 自治省入省 奈良県副知事、総務省地域力創造審議官 等を経て現職  
趣味：さまざまな地域に出かけること  
抱負：沖縄の振興・発展に向けて、全力で取り組みます。

